

狂言堂、修復な復おる

国指定重要無形民俗文化財

嵯峨大念佛狂言 秋の公演

秋季公演

2018年 10月21日(日)

午後1時開演

清凉寺(嵯峨釈迦堂)内 狂言堂・観覧無料

雨天決行・荒天中止

演
目

愛宕詣 (嵯峨大念佛狂言)
鬼の念佛 (千本ゑんま堂大念佛狂言)
～ 休憩 ～
紅葉狩り (千本ゑんま堂大念佛狂言)
土蜘蛛 (嵯峨大念佛狂言)

Special Guest
千本ゑんま堂
大念佛狂言

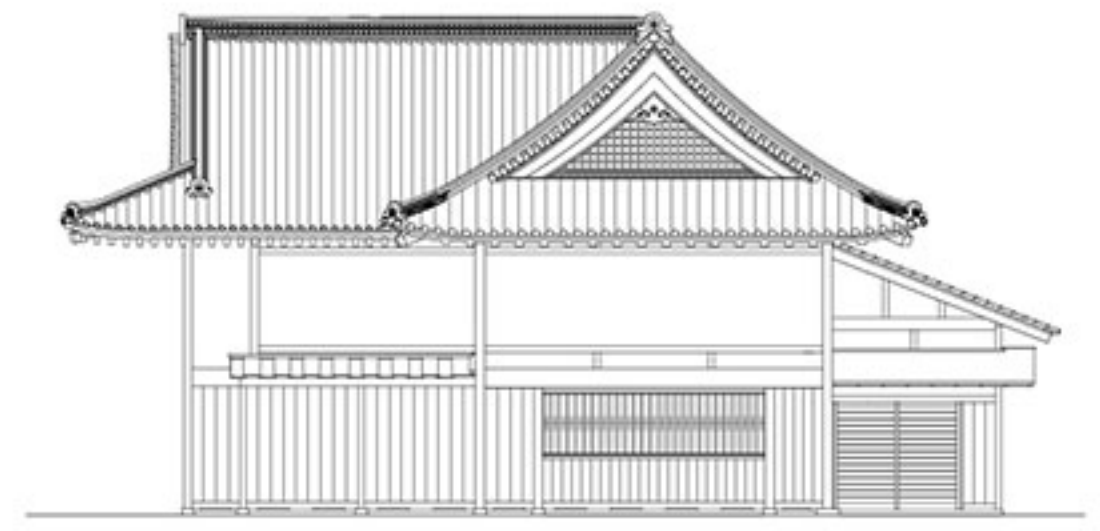
嵯峨とゑんま堂、
ふたつの狂言を
お楽しみください

www.sagakyogen.info
075-861-0343

主催：嵯峨大念佛狂言保存会 共催：千本ゑんま堂大念佛狂言保存会 協力：京都嵐山ライオンズクラブ・株式会社河野製作所

秋季公演

Special Guest 千本ゑんま堂大念佛狂言



◆はじめに

平成 28 年 11 月から嵯峨狂言堂の保存修復工事を進めてまいりましたが、お蔭をもちまして、この度、落慶の運びとなりました。この秋季公演を修復完成記念公演として、修復した舞台での嵯峨大念佛狂言の門出を観ていただきたいと思っております。さらに千本ゑんま堂大念佛狂言保存会もお招きし、大念佛狂言の共通性や相違性に着目しながら奥深さと面白さを、ぜひ味わっていただきたいと思っています。

◆嵯峨大念佛狂言について

京都市の西、嵯峨の釈迦堂の名で親しまれている古刹・清凉寺の境内で執り行われる「嵯峨大念佛狂言」は、国の重要無形民俗文化財にも指定されている民俗芸能です。すべての役者が面を着け、セリフがなく、身振り手振りだけで芝居が進行する点に大きな特徴があり、現在は約二十番の演目が残されています。

その歴史は古く、言い伝えでは鎌倉時代に融通念仏をひろめた円覚上人導御の創始とされています。資料から見ても、嵯峨大念佛狂言には室町時代(享禄二年[1529年])の銘を持つ面が伝わっており、すでに500年近い歴史を有していると考えられます。この他にも、桃山時代の優秀な面打師であった喜兵衛の刻銘を持つ女面《深井》や、和宮降嫁の際に宮中の女官としてその説得にあたった高野房子の菩提を弔うために奉納された装束など、美術史的にも宗教史的にも価値の高い数々の資料が伝わっています。

愛宕詣

茶屋女が店を開けると、母親と娘が愛宕神社のお参りを済ませ、茶屋に立ち寄った。旦那と供もお参りをし、茶屋でお茶を飲んでかわらけを投げて楽しみ、帰りがけに櫛(しきみ)を買って帰ろうとしたところ、母親と娘に気づき娘を見初める。娘に交際を申し込んだ旦那は……。

土蜘蛛

頼光は、気分が優れず憂うつな面持ちで家来たちと酒宴を開くが、その場で床につく。家来たちが控えの間に去ったところ、土蜘蛛があらわれ太刀廻りとなり、土蜘蛛を追い払う。家来たちが騒ぎを聞いて駆けつけると、頼光は家来たちに土蜘蛛退治を命ずる。家来の綱と保昌は無事に土蜘蛛退治が出来るか……。

◆千本ゑんま堂大念佛狂言について

「千本ゑんま堂大念佛狂言」は、毎年5月1日～4日まで千本ゑんま堂(引接寺)境内で本公演を公開する京都の伝統芸能です。千本ゑんま堂狂言は、初代住職の定覚上人が、当初は布教のために始めましたが、その後一時途絶え、鎌倉時代に入って如輪上人によって再興され、次第に芸能化されてきたと伝えられています。

室町時代、千本ゑんま堂狂言と千本ゑんま堂境内に咲く普賢象桜を愛でた三代将軍 足利義満は“桜の盛りに狂言を行うべし”と五十石の扶持米を与えたと伝えられ、16世紀頃の京の景観を描いたとされる狩野永徳筆の『上杉本洛中洛外図屏風』の一部に、最古の狂言図として描かれていることから、室町時代後期には、春の大念仏狂言として一般町衆に親しまれていたものと思われます。

千本ゑんま堂狂言は、京都に伝わる他の念仏狂言(壬生・嵯峨・神泉苑)と同様に、「カン・デンデン」の鱧口・締め太鼓・篠笛の囃子に乗せての仮面喜劇であることは共通しますが、他の念仏狂言が無言劇であるのに対し、ほとんどの演目にセリフがあることが大きな特徴になっています。京都市の無形民俗文化財に登録されています。

鬼の念佛

鬼の待つ六道の辻に亡者が一人落ちてきた。鬼は亡者をせめようと鉄杖をふりあげるが、亡者のとなえる念仏の力にどうしても負けてしまう。かなわないと鬼は亡者を極楽へ行かせようとするが、亡者は地獄で苦しむ多くの罪人を念仏で助けようと策を練っていた……。

紅葉狩

維茂は太郎冠者を従えて戸隠山へ鬼神退治に出かける。着いた二人は、辺りの紅葉の美しさに酒宴を始める。維茂は太郎冠者に紅葉を折ってくるよう申しつけるが、どこからか不思議な女が現われて、枝を折る事を邪魔する。女の紅葉に寄せる思いを聞き、女も加えて酒宴を続ける。やがて、維茂が酒に酔い寝込んでしまった事を確かめた女は、太刀を取り上げ、姿を消してしまうのだが……。

清凉寺へのアクセス

・京都市営バス	28系統・91系統	嵯峨釈迦堂前下車	西へ徒歩2分
・京都バス	61・62・71・72・81系統	嵯峨釈迦堂前下車	西へ徒歩2分
・JR	嵯峨野線(山陰線)	嵯峨嵐山駅下車	北西へ徒歩15分
・嵐電	嵐山本線	嵐山駅下車	北へ徒歩15分



【観覧無料・雨天決行】

お席に限りがございますので、お早めにお越しください。

・清凉寺(嵯峨釈迦堂)
〒616-8447 京都市右京区嵯峨釈迦堂藤ノ木町46

・嵯峨大念佛狂言保存会

お問い合わせ：075-861-0343 メール：vtmil19509@leto.eonet.ne.jp
オフィシャルサイト：www.sagakyogen.info